

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
International Journal of clinical Oncology 13(1):8-11, '08	No increase of breast cancer incidence in Japanese women who received hormone replacement therapy: overview of a case-control study of breast cancer risk in Japan	Sonoo Hiroshi	//
Journal of Cancer Research and Clinical Oncology 134(5):561-567, '07	Low nuclear grade but not cell proliferation predictive of pathological complete response to docetaxel in human breast cancers	Kurebayashi Junichi	//
Cancer Letters 264(1):44-53, '08	Topoisomerase IIalpha-positive and BRCA1-negative phenotype: Association with favorable response to epirubicin-based regimens for human breast cancers	Kurebayashi Junichi	//
日本小児外科学会雑誌 43(4):609-614, '07	漏斗胸に対するNuss手術後感染例の検討	中岡達雄	外科学(小児)
Journal of Pediatric Surgery 42(11):E29-32, '07	Retroperitoneal ganglioneuroblastoma resected 8 years after mass screening: a case report	Nakaoka Tatsuo	//
日本小児外科学会雑誌 43(5):683-687, '07	Nuss手術後バー留置中に発症した自然気胸の検討	中川賀清	//
日本小児外科学会雑誌 43(7):933-937, '07	片腎機能を温存しえたFRNの1例	中川賀清	//
Journal of Pediatric Surgery 43(3):518-521, '08	Evaluation of the Nuss procedure using pre- and postoperative computed tomographic index	Nakagawa Yoshikiyo	外科学(小児)
耳鼻咽喉科・頭頸部外科 79(11):801-810, '07	頭頸部癌に対する超選択的動注化学放射線療法の現況-頸部リンパ節転移への対応をいかに行うか-	秋定 健	耳鼻咽喉科学
病院設備 49(6):520-529, '07	癌放射線治療の新たなパラダイス 硼素中性子捕捉療法(癌細胞選択的放射線治療)の現状と将来	粟飯原輝人	//
頭頸部癌 33(1):35-38, '07	下咽頭進行癌における超選択的動注化学放射線療法の臨床的検討	宇野雅子	//
Journal of Urology 177(4):286, '07	Ejaculatory dysfunction caused by new A1-blocker: analysis of human ejaculatory phenomenon using color doppler ultrasonigraphy	Nagai Atsushi	泌尿器科学
Urology 69(3):457-461, '07	Comparative study of oncologic outcome of laparoscopic nephroureterectomy and standard nephroureterectomy for upper urinary tract transitional cell carcinoma	Nagai Atsushi	//
Acta Medica Okayama 61(6):341-344, '07	Routine Transurethral Biopsy of the Bladder Is Not Necessary to Evaluate the Response to Bacillus Calmette-Guerrin Therapy	Yoshiyuki Miyaji	//
西日本泌尿器科 69(8):494-497, '07	女性腹圧性尿失禁に対するTVT術後de novo urgency発生に関与する危険因子の検討	横山光彦	//

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Neurourology and Urodynamics on line, '07	Correlation of urinary nerve growth factor level with pathogenesis of overactive bladder	Yokoyama Teruhiko	//
Journal of Urology 177(4):326, '07	Correlation of urinary nerve growth factor level with pathogenesis of overactive bladder	Yokoyama Teruhiko	//
西日本泌尿器科学会雑誌 98(3):558-564, '07	高齢者夜間頻尿における脳性ナトリウム利尿ペプチド(BNP)と相対的夜間多尿の関連	近藤典生	//
西日本泌尿器科学会雑誌 70(3):137-143, '08	高齢者夜間頻尿における脳性ナトリウム利尿ペプチド(BNP)測定の意義	近藤典生	//
The Journal of Urology 117(1):225-229, '07	Pelvic Autonomic Nerve Mapping Around the Prostate by Intraoperative Electrical Stimulation With Simultaneous Measurement of Intracavernous and Intraurethral Pressure	Hara Ryoei	//
Prostate cancer and prostatic diseases 11:134-138, '07	A prospective randomized comparison of diagnostic efficacy between transperineal and transrectal 12-core prostate biopsy	Hara Ryoei	//
Urology 71(2):191-5, '08	Optimal approach for prostate cancer detection as initial biopsy: prospective randomized study comparing transperineal versus transrectal systematic 12-core biopsy	Hara Ryoei	//
Biotherapy 21(5):356, '07	制御性T細胞の制御と治療への応用 低用量抗CD25抗体によるCD4+CD25++レギュラトリーT細胞制御の臨床研究	山口佳之	臨床腫瘍学
Biotherapy 22(1):29-34, '08	【外科に応用可能な免疫学的戦略】 Regulatory T細胞の制御と癌免疫療法	山口佳之	//
Hiroshima Journal of Medical Sciences 57(1):37-46, '08	Dose-finding study of anti-CD25 antibody for targeting regulatory T cells in locoregional immunotherapy of malignant effusion	Okawaki Makoto	//
Japanese Journal of Rehabilitation Medicine 44(10):593-597, '07	高次脳機能障害のリハビリテーションの実学; 岡山県における高次脳機能障害者の支援体制	椿原彰夫	リハビリテーション医学
高次脳機能研究 27(03):240-250, '07	右大脳半球損傷で生じた失語を伴わない交叉性口腔顔面失行の一例	山田裕子	//
老年精神医学雑誌 18(04):411-416, '07	Ray-Osterriethの複雑図形を用いた認知症者の視覚性記憶の検討	山田裕子	//
Internatl J Hematol 86:150-157, '07	A prospective study of cyclosporine A treatment of patients with low-risk myelodysplastic syndrome: presence of CD55-CD59- blood cells predicts platelet response	Tohyama Kaoru	検査診断学 (病態解析)
Cytometry Part B: Clinical Cytometry 74B(2):104-109, '08	DNA ploidy and cell cycle analyses in the bone marrow cells of patients with megaloblastic anemia using laser scanning cytometry	Tsujioka Takayuki	//

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本検査血液学会雑誌 9(1):16-22、'08	May-Gruenwald-Giemsa染色を施した骨髄塗沫保存標本を用いた免疫細胞学的染色法の試み	秋山 隆	病理学1

計 1

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

合計 71

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 角田 司
管理担当者氏名	病院事務部長 難波 徹

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		病院事務部医事課 医学資料部 中央病歴室	(1) 外来診療録：一元番号法 (2) 入院診療録：一連一元番号法 (3) X線フィルム：一元番号法
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務部人事課 病院事務部病院庶務課	
	高度の医療の提供の実績	病院事務部医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	病院事務部医事課	
	高度の医療の研修の実績	病院事務部病院庶務課	
	閲覧実績	病院事務部医事課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	病院事務部医事課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	病院事務部医事課 薬剤部	
確規保則の第9条の2及び第1条の11各号に掲げる体制	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理部	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	院内感染対策室	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理部	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	病院事務部病院庶務課	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の11各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	病院事務部病院庶務課
		院内感染対策のための委員会の開催状況	病院事務部病院庶務課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	病院事務部病院庶務課
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	院内感染対策室
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	病院事務部病院庶務課
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	病院事務部病院庶務課 薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	病院事務部病院庶務課 医療機器管理センター
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療機器管理センター
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療機器管理センター
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療機器管理センター		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院事務部長 難波 徹
閲覧担当者氏名	病院庶務課長 大賀 孝子、医事課長 小林 宏規
閲覧の求めに応じる場所	病院庶務課(応接室)

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	53.1%	算定期間	平成19年4月1日～平成20年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数		11,357人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		10,483人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		3,141人
	D: 初診の患者の数		36,600人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 9 条の 2 3 及び第 1 条の 1 1 各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (1 名) ・ 無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (1 名) ・ 無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none">・ 所属職員： 専任 (2) 名 兼任 (2) 名・ 活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none">(1) インシデント報告書に対するリアルタイムな対応(2) 医療安全管理マニュアルの改正とその周知徹底(3) 教育・研修の立案 (全職員の医療安全についての意識を高めるための職員教育講演会でワーキンググループを広報する)(4) リスク管理の充実化を図るため各部署内の医療安全パトロール (ワーキンググループ・医療安全管理委員会が月毎に担当)(5) 患者誤認防止システムの構築に向けての具体的な検討 (トリプルチェックの徹底) を行う。(6) 医療事故分析と対策をニューズレターで啓発 (毎月 2 回発行)(7) 医療安全管理推進週間 (医療安全啓発ポスターを作成して期間中は院内に掲示する)(8) 年用医療安全カレンダーの作成 (各ワーキンググループの手作りカレンダー)(9) 私立医科大学病院相互チェックの実施 (当院を含む中国・九州ブロック 4 校でラウンドを行う)(10) 医薬品・医療機器安全管理責任者を配置して医療安全管理体制の強化を図る。	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有 ・ 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none">・ 指針の主な内容：<p>当院における医療事故防止に係る安全管理の基準、規範となるべき事項を定め、解説して医療安全管理への取り組みの目的を明らかにするものである。</p>	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 3 4 回
<ul style="list-style-type: none">・ 活動の主な内容：<p>医療安全管理に関する委員会は、まず院内の取り組みを総括する委員会として「病院医療安全管理委員会」を設置し、その下部委員会として、各部門から選出されたリスクマネージャーでリスクマネジメントの具体的な実務及び、医師、看護師、その他各職員への情報公開を図る「リスクマネージャー連絡会議」を位置付けている。また、医療事故の発生事例に対処する「病院医療委員会」を設置している。</p><ul style="list-style-type: none">(1) 病院医療安全管理委員会： 2 2 回開催 病院全体の立場から事故防止に関する諸問題を検討して決定する組織である。(2) リスクマネージャー連絡会議： 9 回開催 医療安全管理委員会で審議された事項を通達し各部門に啓発する。(3) 病院医療委員会： 5 回開催 医療事故が発生した場合、その対応方法を検討する。	